

コンクールに参加された全ての参加者そして先生方、本当にお疲れ様でした。このような困難な状況にも関わらず、中学生部門に参加された皆さんは、例年同様芸術的にとても高いレベルに達していらっしゃることを嬉しく思います。コンクールに向けての準備は例年以上に大変だったに違いありませんが、みなさんの並々ならぬ努力の跡がよく伝わってくる演奏でした。今回はコロナ禍という状況に関連して若いピアニストの皆さんにお伝えしたいことについてのみ述べさせていただきます。

1. ショパンの音楽における基本的で際立った特徴の一つは、美しく歌うような音色です。在宅時間が増えてしまった今、いつもベストな状態の楽器で練習できるとは限らないが故に、一層この点に注意を向けて頂きたいと思います。特に録音においては、この点について倍以上の注意を払って頂きたいと思います。良い音で録音するためにはプロ仕様のスタジオ設備が必要なわけではありません。自分の演奏を批判的に聞いてみましょう。美しい音を探してみましょう。マイクを通して演奏する場合、強い音（フォルテ）はどれくらいで弾くのがよいでしょうか？また、どうすれば最も美しい弱音（ピアノ）が生み出せるのでしょうか？

2. ペダルの使い方に注意しましょう。レッスンはオンラインで行われる場合、先生はペダルに関して細かいアドバイスをすることが難しいと思います。自分自身で責任をもって正しくペダルを使えるよう研究してみてください。

3. 録音する際に、リバーブ機能（人工的な残響効果をもたらす機能）に頼らないようにしてください。ショパンの音楽はとても明瞭でなければならず、そういう意味ではモーツァルトに近いものがあります。“リバーブレガート”ではなく、“フィンガーレガート”で演奏できるようにしてください。

次回こそは通常の形式でコンクールが開催されることを信じています。みなさんが健康にお過ごしになり、そしてショパンの作品演奏を通して楽しみを感じられるよう、お祈りしています。これらの美しい音楽で、できるだけポジティブな気持ちを表現できるように心がけてみてください。

今回は例年と異なる困難な状況下であったにもかかわらず、皆さん高い水準で準備されていました。先生方、生徒の皆さん、本当におつかれさまでした。2021年が皆さんにとって良い一年となりますよう願っております。

1. 生徒さんとの日々のレッスンでは、ショパンの指示に基づいて、音質や音色、そして感情に関する想像力を重点的に伸ばしてあげてください。

2. ショパンの装飾音の弾き方には、多くの場合、論争の余地があります。それらは機械的にではなく、むしろ毎回その箇所の旋律やリズムの内容と一致するように弾かれるべきです。

アジア大会に参加されたみなさん、お疲れ様でした！中学生部門の演奏を聴かせて頂き、大変感銘を受けました。ショパンの練習曲、バラード、スケルツォ、ノクターンなどの課題曲は高い芸術性や技術を要求するものです。多くの参加者の方は、非常に素晴らしい演奏をされていたので、次回のワルシャワのショパンコンクールも目指せるのでは、と思ったくらいです。また、ピアニスティックな技術、成熟した音楽性、ショパンの様式に対する感覚についても素晴らしいものをおもちの方がたくさんいらっしゃいました。みなさんの解釈は強く記憶に残っています。

今回は、異なった音響やピアノで録音されていたため、演奏を比べることが難しい部分もありましたが、できるだけ演奏者と録音状況とを分けて考えて評価するようにしました。

残念ながら、たまたまではなく、譜読みの間違いによって低い点数をつけざるを得ない場合もありました。楽譜を注意深く読んでいないか、和声をしっかり分析していないことが原因だと思います。音楽の形式と本質を理解するために、和声についてしっかりと知識を身につけましょう。

みなさんがショパンの音楽の美しさを他の方々と共有して下さることをとても嬉しく思います。2021年が

みなさんにとって素晴らしい一年となりますように！

皆さんとても白熱したレベルの高い演奏でした。アジア大会だけに聴きごたえのある演奏が多かったです。ただ、中には曲に対しての強い想いが力みになってしまったり、音質が固くなったり勢いが上手くコントロールできていない方がいらっしゃいました。また、テンポやルバート等発想はとても良いのですが、より自然に聞こえるようにするとさらに説得力を増すと思います。皆さん一人一人が自身の演奏を見極めてさらに向上心を持って勉強して貰いたいと思います。

今回のコンクールは、コロナ禍の中でのオンライン審査での開催となり、開催前は無事に開催出来るのか、皆が不安の気持ちでいっぱいだったと思います。今回地区大会、全国大会、アジア大会のオンライン審査を通して、参加者の方々のコンクールへの熱い想いを画面から感じる事ができました。中学生のアジア大会での演奏は、レベルも高く素晴らしい演奏も多くあり感心しております。特に印象に残った演奏は、構成的にもしっかりまとめられており、テクニク的にも余裕を感じるものでした。又、画面を通して音色の変化や細かいニュアンス、表現の変化なども伝わる魅力的な演奏をされ、そのレベルの高さに感心いたしました。無事にアジア大会が開催されました事に、改めて喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

- ・皆さんよく練習されて意気込みが感じられる熱演にとっても感銘を受けました。
- ・正しく弾くだけでなく、ピアノを歌わせてこちらに語りかける演奏が心に残りました。
- ・表現力を支えるための演奏技術の安定
- ・情熱的であること、理性的であることのバランスを取って自分の演奏をコントロールしていきましょう。

中学生部門は、よく勉強していました。特に上位の方々は、自分の音楽を持っていて、自分の世界を創造できていて良かったです。